



オランダ国際球根協会ニュースレター VOL.007

2009年10月7日から8日、日本を縦断した大型の台風18号。数多くの花の産地にも甚大な被害がありました。施設を倒され、夏の暑い中、丹精されたたくさんの花を失ってしまわれた生産者の方々。心中を察し、心よりお見舞い申し上げます。

IBC オランダ国際球根協会は11月11日から13日の3日間、幕張メッセで開催される第3回ガーデンEXPO (GARDEX 2009)に出展いたします。

出展ブースでは、オランダの著名なガーデン・景観設計デザイナー「ジャクリーン ファン デル クルト」と「ディック ベイヤー」および彼らの球根花を使ったデザインをテーマ別にご紹介します。また、日本語版「球根ガーデニング ガイドマップ」のご紹介をいたします。今までにない新しいオランダスタイルのガーデンデザインをご覧いただけることと思います。

10月20日には、花キューピット協同組合と共同で、いきいきと輝く女性にユリを贈ろう！という「Happy Mother To Be」キャンペーンが始まりました。11月もさまざまなイベント、展示会などで球根花の魅力を伝えていきます！

CONTENTS

11月も、花の展示会が目白押し！IBCは、さまざまな機会に出展します
ガーデンデザイナー、ジャクリーン ファン デル クルトさんとそのスタイルに注目！
ホルティフェア2009年 レポート(1)
オランダの展示会「ホルティフェア」でVKCが選ぶユリに、またしても「レイクキャリアー」が
フローラホランドのフルールプレミア、ユリ部門は「ピコ」に決定
なにわ花いちばで、「ミス・ユリバース」イベント開催 アンケートとディスカッション
IBCからニュースレター読者へのギフトボックス レポート
切り花のヒアシンズ、「デルフトブルー」が人気 栽培が最盛期に

CONTENTS

11月も、花の展示会が目白押し！ IBCは、さまざまな機会に出展します



IBCは、花の展示会に積極的に出展します。11月もイベント多数あり。

10月30日・31日 「JFIトレードフェア2009」(東京・大田市場FAJ)

11月11日~13日 第3回「ガーデンEXPO (GARDEX2009)」

(<http://www.gardex.jp/> IFEX会場内) ブース番号は【9-15】です。

冒頭でもご紹介しましたが、出展ブースでは、オランダの著名なガーデンデザイナーと



その作品にスポットを当てたコーナーと「ガーデニングマップ」の両コーナーで今までにない新しいオランダスタイルのガーデンデザインを紹介します。

また、来年、2010年2月に開催を予定する ジャクリーン ファン デル クルトさんによるオランダの最新ガーデンデザインセミナーも合わせてご案内いたします。

11月22日、23日にお台場フラワーフェスティバルに出展します

<http://wwwz.fujitv.co.jp/otona-park/index.html>

お台場フラワーフェスティバル

お台場オトナ PARK 2009 ~ 素敵な大人の4 DAYS ~ 関連イベント「お台場フラワーフェスティバル」に、IBCは**ブースを出展します**。華やかなお台場のイベントということもあり、たくさんの来場者をお待ちしています。ブースではユリの紹介、球根の新しい楽しみ方を紹介。イベントではデザインコンテスト、デモンストレーションなども楽しめます。

会期 11月22日(日)~23日(月・祝)

会場 ホテル日航東京(お台場) 入場無料

11月23日 日本花職杯2009、「フジテレビカップ」開催

11月23日 **フラワーデモンストレーション**

マミフラワーの川崎景太氏、IBCのレン・オークメイド両名による。

22日はカルチャー教室あり。イベントは23日だけ。

ガーデンデザイナー、 ジャクリーン ファン デル クルトさん と そのスタイルに注目！



11月11日~13日の第3回ガーデンEXPO(ブース番号は【9-15】)では、来年、2010年2月に開催を予定する ジャクリーン ファン デル クルトさんによるオランダの最新ガーデンデザインセミナー(関東・関西)も合わせてご案内いたします。

IBCでは、球根の花をもっと自由に楽しくガーデンに取り入れるために展示やガーデンマップのみならず、プロフェッショナル向けのセミナーも来春にかけて、企画していきます。

セミナーは関東と関西地区でそれぞれ1回行います。

プロフィール



オランダ・ボスコープとベルギー・アンダーレヒトの園芸学校で造園と景観設計を学ぶ。資格取得後、ガーデン・景観設計デザイナーとなる。1985年に独立。当初は主に個人所有の庭のデザインを手がける。数年のうちに、特に多年草や一年草と球根とを組み合わせたガーデンデザインに関心を持つようになり、著名な「プランツスペシャリスト」となる。

その後、数々の景観設計会社から植栽のデザインを頻りに依頼されるようになり、数多くの大規模プロジェクトに参加する。ジャクリーンは、アムステルダムの南東に位置する小さな町、Weesp(ウェースプ)に家族と住んでいる。彼女とビジネスパートナーである Niek Roozen(ニック ローゼン)は、ここにある「Theetuin(ティガーデン)」と名づけた庭を4月から10月まで開放している。著作: In de Tuin、Toveren met Bollen、Floriade. feel

the art of Nature、Inspiration、Bloembol&Co、など多数。



- ・ ティガーデン（ウェーブ）の情報サイト
www.theetu.nl
- ・ ジャクリーンさんの公式サイト
<http://www.jacquelinevanderkloet.nl>

「ジャクリーンスタイル」とは

今までのように大量の球根だけを幾何学形に植えるのではなく、球根と多年草や一年草を組み合わせるナチュラルデザイン。

球根花それぞれの間に空間ができ、球根花の美しい花姿を楽しむことができる。

花の草原に球根の花が浮かんでいるように見えるのが特徴。そして、球根花が終わると一年草や多年草が咲き始める。

代表的なデザインは、キューケンホフ公園内の 4 ヘクタールにおよぶ庭。これらの庭はインスピレーションを与える 7 つの庭—春の草原球根と多年草のコンビネーションなど。

参加した主なプロジェクトには、オランダ国内の Floriade 1992,2002 や、Royal Mile, Triennale Apeldoorn2008、IGA 2003、EXPO 2000、etc. ヨーロッパ、アメリカ、中国などの大規模な国際展覧会多数。

彼女の最も印象に残るプロジェクトは、Triennale Apeldoorn 2008 で、一年草と夏咲き球根花を使ってデザインした長さ 1.5 キロの「ロイヤルマイル」と呼ばれるボーダー。

2009 年、ニューヨーク植物園での春咲き、夏咲き、秋咲きの球根を使ってデザインする「シーズナルウォーク」プロジェクトも楽しみにしている。

ホルティフェア 2009 年 レポート（1）



2009 年 10 月 13 日～16 日に渡って、アムステルダムのライ国際見本市会場にて、オランダの園芸業界を代表する見本市ホルティフェアが開催され、オランダ国内外から種苗会社、卸会社、商社、生産者と園芸多岐にわたる業種の視察者が訪れた。

今年は会場スペース、出展者数も大幅に減少した分、園芸資材関係、種苗関係とテーマ別にコンパクトにまとめられ、逆に視察しやすくなったとの感想も聞かれた。統計的には入場者数は昨年の 48,000 人から 34,000 人に激減という数字を残した。期間終了後の評価は 10 点中の 7.5 という発表であった。

新品种や新製品の展示の傍ら、毎年注目されるのが VKC 品評会。育種会社や生産者が自信の切り花、鉢物を出品し、各品目、カテゴリーごとに賞が与えられる。以下、品評会の展示風景と 14 日午後の結果発表と授賞式の様子の写真。品評会の結果一覧は www.hortifair.nl/nederlands/hog/house_quality.php にて公開。以下環境に配慮した商品などについては次号でお伝えします。





オランダの展示会「ホルティフェア」でVKCが選ぶユリに、またしても「レイクキャリー」が



ホルティフェアで毎年行われている品評会のユリ部門で、VKCは、濃いピンクのオリエンタルユリ、「レイクキャリー」を最優秀品種に選んだ。この、レイクキャリーという品種は、非常に人気が高いようで、過去に何度も入賞している大横綱クラスの花だ。記録によると、2005年、2006年が2年連続で1位。2007年と2008年は、惜しくも2位となったが、今年また1位に返り咲いた。わずかに波打つ花弁が魅力的な品種。

VKCは、オランダで品種名を登録・管理したり、品評会の取りまとめなどを行っている業界団体。

<http://www.vkc.nl/en/index.html>



フローラホランドのフルールプレミア 2009、ユリ部門は「ピコ」に決定

【 フローラホランドのプレスリリース 】



花の品評会を行うフルールプレミア賞のユリ生産部門の発表が、ホルティフェアの会場で発表された。

会場のフローラホランドのブースで行われた表彰式でデリック・ホーヘルホースト Dirk Hogervorst ラインスブルグ支社長は、どの花がフルールプレミアにふさわしいか、発表した。9月の事前のラウンドでは100名以上の買参人と小売店がフルールプレミアに押したい花を投票した。フルールプレミアとは、十分な供給量があり、日持ちが証明された新しい品種にフローラホランド市場から与えられる賞。

今年のフルールプレミア2009ユリ部門では、生産者A. van der Marel BV社とブリーダーであるマック社 Mak Breedingのオリエンタルユリ、「ピコ」'Pico'に決定。ピコ Picoの最も評価されるのは、その美しく薄れない色。このユリはまた、とても丈夫で、流通段階での取り扱いのよさも魅力の1つだ。

画像は www.floraholland.com を参照のこと。



ピコは、先程のレイクキャリーと同じ育種会社であるマック・ブリーディング社の育種。シベリアなど、現在非常に人気のある品種群を世に出している注目の育種会社だ。

日本向けに力を入れていることが分かる資料(日本語版)がサイトにある。

<http://makbreeding.nl/nl/Nieuws>

http://makbreeding.nl/mbr-includes/images/layout/articles/Lilyscoop_2009_JP.pdf

フローラホランド、フルールプレミア受賞画像参照

<http://www.floraholland.com/nl/overfloraholland/Pers/Pages/FleurPrimeur2009.aspx>

なにわ花いちばで、「ミス・ユリバース」イベント開催 アンケートとディスカッション

10月9日に、なにわ花いちばで、画期的なユリのイベントが行われました。きれいに開花した状態で100種類以上のユリを展示し、人気投票を行い、午後には市場・生産者・買参人によるパネルディスカッションを行いました。会場には輸入会社・デザイナーなどさまざまな立場の人が70名以上集まりました。コンテストには300名以上の方が訪れお気に入りの票を投じました。結果は白部門1~3位はサンベルナルド、リアルト、カサブランカ。同じく、ピンク部門はリド、マレロ、ブレスカの順。赤・濃いピンク部門では、ピピアナ、レイクキャリー、スマトラ。黄色ほか部門はイエローウィン、アボカド、マニサ。

ディスカッションでは「今のユリに満足していますか?」がテーマでしたが、主要3品種で6割を占める状態で満足するのか?など議論が白熱し、満足していないならばどうすればいいのか、など話したい話題の全部を消化できずに時間切れで終わってしまったほどだったそうです。香りを抑制する技術はこれからどうなるのかといった話題も含め、次の機会に期待したくなる非常に内容の濃いイベントでした。

・なにわ花いちば HP <http://www.naniwa-hana.co.jp/>

・宇田明先生 <http://udaakira.blogspot.com/2009/10/missyuriverse.html>

グラジオラスの新品種、日本にも登場間近。日本向け11品種を新たに隔離免除。



オランダのBKDは、日本向けのグラジオラス11品種について、試験結果をまとめ、隔離免除を発表した。今回日本向けに輸出が認められた11品種は次の通り。Adrenalin、Georgia Peach、Bangladesh、Kings Lynn、Cayenne、Magma、Costa、Malta、Creme Perfection、Thomas、Flevo、Bambino。これで、オランダから日本に輸入が認められた品種は94品種となった。先月もお伝えしたようにオランダで動きが出ているグラジオラス人気に火がつくか?オランダでのグラジオラス栽培は2000年のほぼ半分まで減っているが、日本の市場取扱数量は05年に下げ止まったように見える。平均単価はこの10年ほどほとんど変わっていない安定した品目のひとつだ。

BKDは、オランダの花栽培に関する病害虫対策、検疫などを管理する組織。

<http://www.bloembollenkeuringsdienst.nl/>

IBCからニューズレター読者へのギフトボックス レポート

IBCから、ニューズレターの読者プレゼントを行いました。応募いただきありがとうございます。コメントも読ませていただきました。今後の参考にさせていただきます!

さて今回プレゼントしたオリジナルギフトボックスは、春咲きの球根が112個入った球根の詰め合わせ。品種名の書かれたパンフレット付きで、IBCオリジナルの化粧箱に入っています。



化粧箱には素敵な写真と「DO YOU WANT SOME SPRING?」という文字が書かれIBCの今年のトレンドテーマ「Be green」についても解説シートがついています。【 この「BE GREEN」の球根ボックスはIBCがトレンドを伝えるときに役立つようにメッセージを込めて制作したものです。消費者に刺激を与え、育てたくなるような思いを込めて、鉢植えにしたり、切り花として使える花の球根が入っています。この箱を見れば、2009年の大事なトレンドである「グリーンな暮らしをしませんか」という名前をアピールすることができると思います。私たちが環境に向けて関心を高めることで、自然はより重要だということ意識するようになります。こうして、花やみどりは、暮らしの中で、より重要な役割を果たしていくことでしょう。】外箱の中身は4つの小箱に分けられていて、各小箱に1、2品種ずつ入れられています。袋には品種名と育てるときの注意点が記号で書かれています。

切り花のヒアシンス、「デルフトブルー」が人気 栽培が最盛期に

ヒアシンスの濃青の人気品種「デルフトブルー」の栽培が最盛期に入っている。画像はたくさん球根をひとつひとつ手作業で整然とケースにならべる生産者。このケースを定温庫で管理し、順番に出庫していく。デルフトブルーは色とともにネーミングが好まれている。



オランダの雑誌 Bloembollen Visie 177号 より

もうチューリップの季節。市場への出荷もだんだんと増えてきていますね。IBCでは、来年1月2週目に大田市場の通路で Bulb in Pot の展示を行う予定です。花付き鉢植え球根の使い方などを提案していきます。来月はチューリップの話がメインになります。

オランダ国際球根協会ニュースレター第007号 発行：オランダ国際球根協会

HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス：ibc@aurorajp.com